

FRONTEO

FRONTEO通信

2023年3月期 事業報告
2022年4月1日～2023年3月31日

- トップメッセージ
- 事業ハイライト
- 業績ハイライト

株式会社FRONTEO

証券コード：2158

株主の皆様へ

株式会社FRONTEOは本年8月8日に20周年を迎えます。これもひとえに、株主の皆様の長年にわたるご支援の賜物と、心より感謝と御礼を申し上げます。

当社グループは、企業理念「Bright Valueの実現：記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」の下、自社開発の人工知能（AI）エンジン「KIBIT（読み：キビット）」を活用したソリューションを提供し、さまざまなフィールドにおける専門家の判断支援を通して企業課題・社会課題の解決に貢献してまいりました。

2022年度は、原材料価格の高騰や国際紛争などを背景に、企業の生産性向上や業務効率化、ビジネスモデルの変革を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）など、今後の持続的な成長を目指す投資需要が高まり、AIはその有力な選択肢となっています。FRONTEOは、この社会的要請に応えるべく、質の高いAIソリューションの研究開発・提供を推し進めております。

グループ全体では、営業プロセスの見直しや積極的な人的投資など営業基盤の再構築を行い、さらに本年4月、自社開発AIの一層のブランド力強化と市場への浸透を図るため、FRONTEO独自の設計思想に基づきAIエンジン名を統一するなど、持続的な成長を遂げていくための基盤づくりに注力いたしました。

ライフサイエンスAI分野では、創薬プロセスにおける革新的なメソッドを構築し、新しい創薬支援ビジネス構想「Drug Discovery AI Factory」開始に向け準備を進めております。創薬研究への従事経験を有しAIの知識も併せ持つバイオリジストが中心となってチームとなり、当社独自のメソッドを最適に組み合わせ、顧客のオーダーに沿った成果物を効率的に生み出します。AIを活用した創薬企業を目指し、国内外の製薬企業の医薬品研究開発を支援し、創薬プロセスの加速化・成功確率向上に貢献してまいります。



ビジネスインテリジェンス分野では、新しい平時監査システム「KIBIT Eye」を開発し、本年4月に提供を開始しました。従来と比べて高い解析精度を実現した本システムを活用し、企業のコンプライアンス体制構築やDX推進をはじめ、ビジネス効率や顧客満足度の向上、コスト削減に寄与してまいります。

リーガルテックAI事業では、企業の法務担当者を対象に最新かつ有益な情報を発信する当社ポータルサイトの登録会員数が、本年2月に1万人を超えました。国際訴訟に関わる「eディスカバリ（電子証拠開示）」や「デジタルフォレンジック調査」などについて、顧客への適切かつ迅速な支援を強化してまいります。

経済安全保障事業では2022年度より、東京大学先端科学技術研究センタールール形成戦略分野と、経済安全保障領域の共同プロジェクトを開始しました。同領域の知見の一層の蓄積・深化を図るとともに、日本企業への高品質のサービス提供、海外企業への対応力強化を促進いたします。

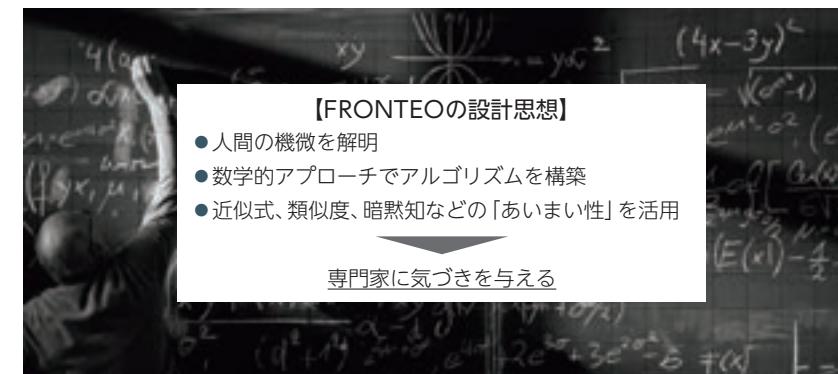
当社は引き続き、中長期戦略に沿って経営基盤の強化を進め、持続的な成長と企業価値の向上のためのさまざまな施策を実行してまいります。株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 FRONTEO
代表取締役社長

FRONTEO独自の設計思想に基づいて、AIエンジン名を「KIBIT」に統一 AIエンジン・製品名称を変更し、ブランド力強化と市場浸透を促進

FRONTEOは2023年4月1日より、自社開発のAIエンジンならびに一部製品名を変更しました。新名称においては、FRONTEO独自の設計思想をより明確に打ち出す観点から、AIエンジン名を従来の各アルゴリズムの個別名称から「KIBIT（読み：キビット）」に統一するとともに、各製品名に同名称を冠し、一層のブランド力強化と市場への浸透を図ります。

KIBIT



変更の経緯

- 自社開発AIエンジンを、人間の微妙な心の動きを意味する日本語の「機微」と、情報の最小単位を意味する「bit」とを組み合わせ、「人間の機微を理解する人工知能」を大きく育てる決意を込めて、KIBITと命名し、2012年より展開
- FRONTEOの設計思想に基づき、主にリーガルテックAI事業とビジネスインテリジェンス分野の製品群に用いる「Landscaping」「Illumination Forest」、ライフサイエンスAI分野において求められる特性を備えた「Concept Encoder」、経済安全保障分野に向けた「Loooca Cross」などのユニークなアルゴリズムを生み出すとともに、それらを搭載したAIシステム・ソリューションを開発・提供し、顧客企業・組織の事業活動や課題解決に貢献
- AI設計思想の一層の追求と、顧客への認知促進を図ることを目的に名称の変更・統一を実施

自社開発の自然言語処理AIエンジン「KIBIT」を活用し、創薬研究の効率化・加速化・成功確率向上、医療の質向上・効率化、医療従事者の負担軽減・業務改善、患者や高齢者のQOL向上などに貢献できるよう、さまざまな製品・サービスを研究開発・提供しています。

加速する企業のコンプライアンス体制構築やDX推進に貢献する新製品を多数展開。2023年4月には新たな平時監査システム「KIBIT Eye」の提供を開始しました。また、企業リスクの未然防止だけでなく、ビジネスチャンスの創出を支援する新生「KIBIT WordSonar for VoiceView」を発表。ビジネス効率や顧客満足度の向上、コスト削減に寄与します。

Drug Discovery AI Factory

AIと創薬エキスパートの融合で創薬研究の大幅な効率化・加速化・成功確率向上を支援

大手製薬企業や国際的研究機関で培った豊富な創薬経験とAIへの深い理解を併せ持ったバイオロジストと、AIを駆使して高度な解析を行うデータサイエンティストが密に連携し、顧客の創薬研究の効率化・加速化・成功確率向上に貢献する解析と提案を継続的にを行います。

製薬企業



創薬ベンチャー



大学等研究機関



オーダー



DD-BKM PLATFORM

重複差分解析 多面的解析 ベクトル加算解析
 二次元マッピング解析 Virtual Experiments

Kibi+ Amanogawa Kibi+ Cascade Eye Kibi+ liGALILEO

成果物

標的探索/選定



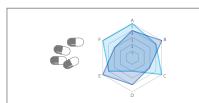
仮説生成



ドラッグ・リポジショニング



導入/導出品の評価



不正の再発防止・早期発見に貢献するメール・チャット監査システム

Kibi+ Eye

- 1 圧倒的なAI監査実績
- 2 少ない教師データでも見つけたい文書を抽出
- 3 シンプルな操作性

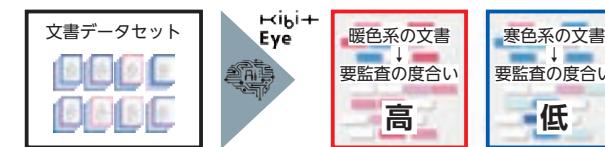
微妙なニュアンスを、“さらに”検知するAIエンジンに進化。

監査業務の工数を大幅に削減し、内在するリスクを可視化することで経営危機から企業を守ります。Email・通話音声テキストデータ・Microsoft Teams・Slack・LINE WORKS・Bloombergといった、さまざまなコミュニケーションツールに対応しています。

設計思想

文中のワード(形態素)を原色に例え、文書全体のニュアンスを色合いで捉える新しいAIアルゴリズムを自社開発

□:形態素・品詞



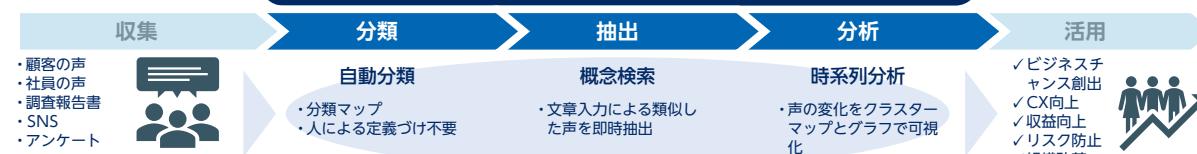
「顧客の声」に潜んでいるビジネスチャンスの種を発見し企業成長を支援

Kibi+ WordSonar for VoiceView

膨大な「声」からインサイトを導き出すAIソリューション。

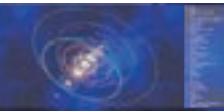
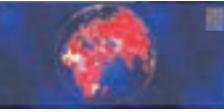
日々変化する社会環境とともに生まれる新しい顧客の要望や課題など、潜在ニーズをいち早く捉えてビジネスへの転換を支援します。

活用シーン



「経済安全保障推進法」2022年5月18日に公布。2022年8月より4つの制度を段階的に施行。グローバルな情勢と経済環境が大きく変化する中、経済安全保障に関するリスクとチャンスを可視化し、事業・経営戦略の策定・推進をサポート。

押さえるべき3つの視点とAIを活用した経済安全保障ソリューション

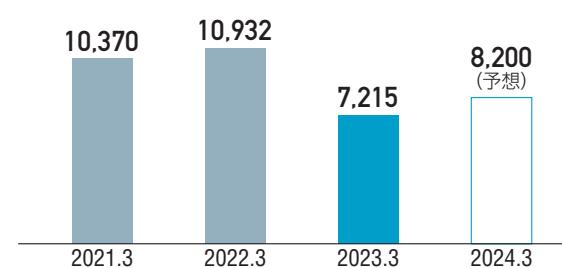
サプライチェーン解析ソリューション	サプライチェーンのチョークポイントの可視化をもとに、懸念組織とのつながりの可能性や依存度を把握	
株主支配ネットワーク解析ソリューション	複雑な持ち株ネットワークを可視化し、真の株主や支配経路、懸念組織とのつながりを把握	
最先端技術・研究者ネットワーク解析ソリューション	論文の内容や著者・所属組織等から、機微技術の研究動向、研究者、研究者と懸念組織とのつながりを可視化して把握	

2023年3月 東京大学先端科学技術研究センタールール形成戦略分野との共同プロジェクトを開始

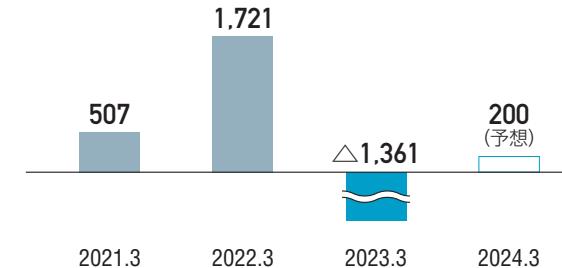
各国の経済安全保障政策の比較研究や、経済安全保障上の課題が国際政治に及ぼす影響分析などを主な研究分野とする東京大学先端科学技術研究センタールール形成戦略分野との共同研究を開始しました。当社の経済安全保障AIソリューションを用いた解析結果を論文・報告書等に執筆し、国際セミナー等で情報発信するほか、産学連携の取り組みを推進します。この共同研究を通じて得られた研究結果が、国内外の企業・機関・政府等の経済安全保障の対策推進に資するよう、取り組みを進めています。

連結業績ハイライト (単位:百万円)

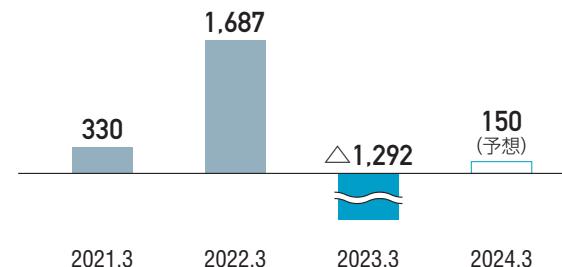
売上高



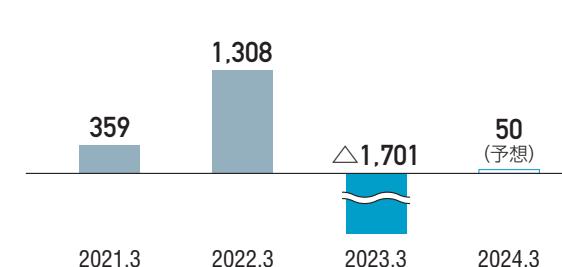
営業利益 (損失)



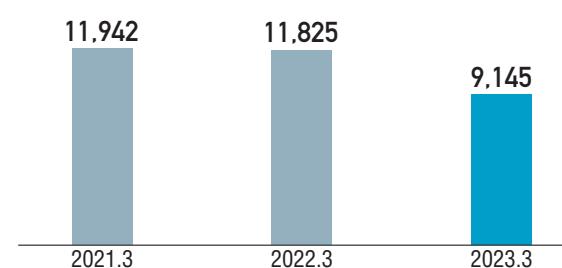
経常利益 (損失)



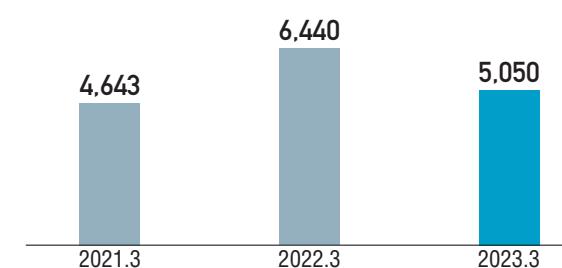
親会社株主に帰属する当期純利益 (損失)



総資産



純資産



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料などさらに詳しい決算情報がご覧になれます

<https://www.fronteo.com/ir/>

FRONTEO IR



優秀な弁護士や専門家と、企業をつなぐリーガルプラットフォーム“FRONTEO Legal Link Portal”が登録会員10,000名を突破

2020年6月に開設以来、有事対応、平時のコンプライアンス対策に関わる法務担当者・管理部門責任者などの法知財関連の企業担当者と、第一線で活躍をしている弁護士や専門家をつなぐ、国内最大級のプラットフォームに成長しています。ライブでのオンラインセミナーとオンデマンド動画を発信し、58の日米の大手弁護士事務所からの登壇者は248名、動画コンテンツ数は639本となりました。企業と弁護士との接触の機会を創出しています。

会社情報 / 株式情報

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	株式会社FRONTEO (FRONTEO, Inc.)
証券コード	2158
設立	2003年8月
資本金	3,042,317千円
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
従業員数	288名

役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長CEO	守本 正宏
取締役COO	上杉 知弘
取締役	山本 麻理
取締役 ^{*1}	舟橋 信
取締役 ^{*1}	桐澤 寛興
取締役 ^{*1}	永山 妙子
取締役 ^{*1}	鳥居 正男
常勤監査役 ^{*2}	須藤 邦博
監査役 ^{*2}	安本 隆晴
監査役 ^{*2}	大久保 圭

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	39,332,862株
株主数	34,241名

大株主 (2023年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
守本 正宏	6,785,900	17.25
株式会社フォーカスシステムズ	3,637,420	9.24
池上 成朝	2,700,300	6.86
株式会社学研ホールディングス	391,600	0.99
野村證券株式会社	247,244	0.62
SMBC日興証券株式会社	168,900	0.42
株式会社SBI証券	164,700	0.41
野崎 周作	140,000	0.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	139,800	0.35
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	136,688	0.34

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所グロース市場
株式の売買単位	100株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: https://www.fronteo.com/ir/stock/notification/ やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページからご確認ください。 https://www.tr.mufj.jp/daikou/